

令和3年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


社会的養護

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「児童福祉法」の一部である。(A) ~ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

第2条 (A) は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その (B) が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

② (C) は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。

③ (D) は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	全て国民	最善の利益	児童の保護者	市町村
2	全て国民	最善の利益	児童の保護者	国及び地方公共団体
3	全て国民	安全	市町村	国及び地方公共団体
4	国及び地方公共団体	安全	児童の保護者	市町村
5	児童の保護者	最善の利益	国及び地方公共団体	市町村

問2 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）第7条の一部である。（A）～（D）にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

（児童福祉施設における職員の一般的要件）

第7条 児童福祉施設に入所している者の保護に従事する職員は、健全な心身を有し、豊かな人間性と（A）を備え、児童福祉事業に熱意のある者であつて、できる限り児童福祉事業の（B）及び実際について（C）を受けた者でなければならない。

（児童福祉施設の職員の知識及び技能の向上等）

第7条の2 児童福祉施設の職員は、常に（D）に励み、法に定めるそれぞれの施設の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならない。

【語群】

ア	個性	イ	倫理観	ウ	理性	エ	方法	オ	理論
カ	知識	キ	研修	ク	訓練	ケ	自己研鑽	コ	社会啓発

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | ク | ケ |
| 2 | ア | エ | キ | コ |
| 3 | イ | オ | ク | ケ |
| 4 | イ | カ | キ | コ |
| 5 | ウ | オ | キ | ク |

問3 次の文は、「児童相談所運営指針」（令和3年3月改正 厚生労働省）の第4章第6節「児童福祉施設入所措置、指定発達支援医療機関委託」の一部である。（A）～（D）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

児童福祉施設等への入所又は委託措置は、一般に「（A）～（B）～（C）～（一時保護）～（D）～終結」と続く一連の相談援助活動の一環であり、慎重な判断に基づき行う。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	相談	調査・診断	判定	援助
2	相談	援助	調査・診断	判定
3	相談	調査・診断	援助	判定
4	調査・診断	相談	判定	援助
5	調査・診断	相談	援助	判定

問4 次の文は、「児童相談所運営指針」（令和3年3月改正 厚生労働省）の第1章第3節「児童相談所の業務」における相談援助活動の展開の一部である。(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

児童相談所は、受け付けた相談（通告を含む。）について主に児童福祉司、相談員等により行われる子どもとその家族への面接及び親族や地域関係者との面接を含むその他の調査に基づく(a) 家族診断、児童心理司等による(b) 心理診断、医師による医学診断、一時保護部門の児童指導員、保育士等による(c) 発達診断、その他の診断（理学療法士等によるもの等）をもとに、原則としてこれらの者の協議により総合的な(d) モニタリングを行い、子どもとその家庭に関する全体像をつかみ、現在問題となっている状態に至ったプロセスを見立てる。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問5 次の文は、「児童養護施設入所児童等調査の概要（平成30年2月1日現在）」（厚生労働省）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 里親に委託されている児童の数は約5,400人で、前回の同調査よりも増えている。
- B 児童養護施設に措置されている児童の数は約27,000人で、前回の同調査よりも増えている。
- C 乳児院に措置されている乳児の養護問題の発生理由は、「母の精神疾患等」によるものが最も多い。
- D 児童自立支援施設に措置されている児童の養護問題の発生理由は、「父母の離婚」によるものが最も多い。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問6 次の文は、児童養護施設における自立支援に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童養護施設では、退所を控えた児童に限り、児童やその家庭の状況等を勘案して、その自立を支援するための計画（児童自立支援計画）を策定しなければならない。
- B アセスメントと計画の評価・見直しは、少なくとも半年ごとに定期的に行い、かつ緊急の見直しなど必要に応じて行うこととされている。
- C 児童自立支援計画は、児童の担当職員が単独で策定することとされている。
- D 入所後数か月間は、児童相談所で作成した援助指針を自立支援計画として活用してもよい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	○	×	×

問7 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）に規定されている保育士に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児院に配置される看護師は、保育士をもってこれに代えることはできない。
- 2 母子生活支援施設に置かれる母子支援員の資格について、保育士は、該当資格として認められていない。
- 3 児童心理治療施設には、保育士を置かなくてもよい。
- 4 児童自立支援施設に置かれる児童自立支援専門員の資格について、保育士は、該当資格として認められていない。
- 5 児童養護施設に配置される児童指導員の資格について、保育士は、該当資格として認められている。

問8 次の文は、「フォスタリング機関（里親養育包括支援機関）及びその業務に関するガイドライン」（平成30年7月6日 厚生労働省）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A フォスタリング業務とは、里親のリクルートや子どもと里親家庭のマッチングなど、里親委託が実施されるまでの業務であり、里親委託中における里親養育への支援は含まれていない。
- B フォスタリング業務は、都道府県（児童相談所）の本来業務であるが、都道府県知事（指定都市又は児童相談所設置市（特別区を含む。）の市長を含む。）は、その事務の全部又は一部を、適切に行うことができる者に委託することができる」とされている。
- C 民間フォスタリング機関でフォスタリング業務に従事する者には、守秘義務は適用されない。
- D フォスタリング業務を民間フォスタリング機関へ委託する場合、フォスタリング業務全体の最終的な責任は、委託された民間フォスタリング機関が負う。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問9 次の文は、「社会的養護関係施設における親子関係再構築支援ガイドライン」（平成26年3月 親子関係再構築支援ワーキンググループ）におけるアセスメントに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A アセスメントとは、ある事柄に関して客観的な評価をすることであり援助指針を作成するために行うものである。
- B 児童相談所が行うアセスメントのための調査では、子どもの情報を秘匿する必要があることから、保護者や子ども、関係者に協力を求めることは禁止されている。
- C 児童養護施設入所時に行うアセスメントで事前に収集する情報としては、子ども本人の情報が重要であるため、保護者や家族についての情報を収集する必要はない。
- D 児童相談所における相談の流れとしては、相談を受理した後にアセスメントを行い、プランニングへと移行するとされている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問 10 次の文は、「新しい社会的養育ビジョン」（平成 29 年 8 月 2 日 新たな社会的養育の在り方に関する検討会）における代替養育に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「できる限り良好な家庭的環境」として、地域小規模児童養護施設や分園型グループケアを挙げており、施設での養育を完全に否定するものではない。
- B 多様化する子どものニーズに対応するため、施設は入所機能に特化して担っていくべきである。
- C 児童福祉施設には、トラウマやアタッチメントに関する理解とこれらを認識した生活支援、日常生活において表現される子どもの問題行動への対応技術など、極めて高度な専門性が求められる。
- D 子どもの出自を知る権利を保障するため、施設や法人が解散することにより養育環境の適切性に関する記録が保存できなくなるときは、措置した児童相談所や都道府県が記録の保存に努めるべきである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	×